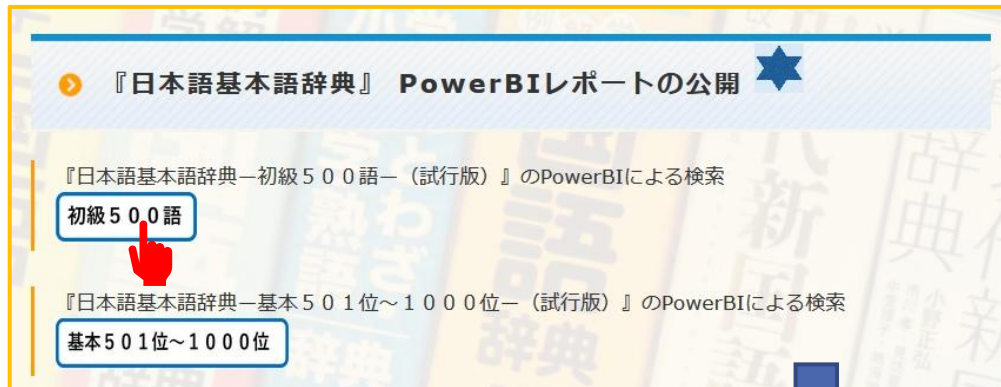


◎『日本語基本語辞典』PowerBIレポート閲覧方法

1. 閲覧したい辞典を👉クリックしてレポートを開く



2. 見出し語を選ぶ

（例1）「あかるい」

国立国語研究所
日本語基本語辞典
—初級500語—
島村直己 他 (2009)

見出し, 表記

検索

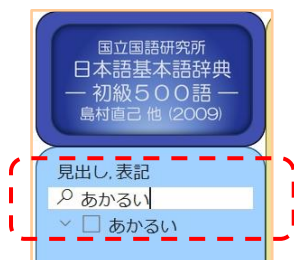
☐ あお
☐ あおい
☐ あか
☐ あかい
☒ あかるい
☐ あき
☐ あける
☐ あさ
☐ あさって
☐ あし
☐ あした
☐ あそこ
☐ あそふ
☐ あたま
☐ あたらしい
☐ あちら
☐ あつ

をクリック

表記	品詞	小区分	小区分表記	語義
(動)				新年や喜ばしい出来事を知って言うことば。 (子どもが)よく言うことを聞いて静かであるさま。 (1) たいたいの見方をします。 (2) 地位が最も上であること。最も。 (3) 勝負を一つやってみよう、の意から) たのしにひとつ。試みに。 (4) 状況をなにかにたとえる。 (5) 座るための、脚 座面を持った家具。肘掛けや背もたれの付いている物もある。チェア。また二人以上が並んで座る長いす (ベンチ) もある。腰掛け。
(形)				「暗や今日は一日おとなだったね」 「暗や10分くらい入っててくれたさい」 「駅まで10分くらいかかる」 「世界でいちばん速く走る男と書かれる」 「何もしないのがいちばん悪いことだ」 「ここはいちばん、サボラホームランを打つ」 「自分が飛び出るかと思うくらい驚いた」 「手紙を書くくらい簡単じゃないか」 「子どもに死なれるくらい悪い出来事はない」 「いやな上の上の下で働かされるくらいなら、退職したほうがましだ」 「この椅子に寝てお待ちください」

あ行 か行 さ行 た行 な行 は行 ま行 や行 ら行 わ行 ALL

検索窓に語を入力して
絞り込むこともできます



国立国語研究所
日本語基本語辞典
—初級500語—
島村直己 他 (2009)

見出し, 表記

検索

☐ あお
☐ あおい
☐ あか
☒ あかい
☒ あかるい
☐ あき
☐ あける
☐ あさ
☐ あさって
☐ あし
☐ あした
☐ あそこ
☐ あそふ
☐ あたま
☐ あたらしい
☐ あちら
☐ あつ

表記	品詞	小区分	小区分表記	語義
(形)				① 光があたりをよよく照らしている (形容) 「つきたち (月立ち)」 から算定してできたことば。 (形容) 「一日 (いちにち)」 は、同表記の別語。 (形容) 「今日はよいお天気で……」 などの後の部分が略されてきた語。 (形容) 「今朝はよからずで……」 などの後の部分が略されてきた語。
(動)				「月夜で道路が明るい」 「雪が明けて車の空が明るくなった」 「全体に明るい感じの絵が描けた」 「明るい朝のワンピースを着る」 「クラスで明るくふるまう」 「うちの父は物理学に明るい」 「外国の事情に明るい」 「周囲の文化交流に明るい見識が立つ」

あ行 か行 さ行 た行 な行 は行 ま行 や行 ら行 わ行 ALL

2. 表記情報から見出し語を絞り込む

(例2) 「ない」

国立国語研究所
日本語基本語辞典
— 初級500語 —
島村直己 他 (2009)

見出し, 表記

☒ ない
☐ なが
☐ ながい
☐ なく
☐ なぜ
☐ なづ

表記	品詞	小区分	小区分表記	語義	例文
(ない)	[助動]			① (動詞の未然形について) その動作の打ち消しを表す。	「行かない」「もうしない」
(ない)	[助動]			② (「か」「かしら」「かな」「かなあ」などの語を付けたら, 上昇調のイントネーションで命令, 願望, 推量などを表す。	「どうだ, もうしないか」「少しでももらえないかしら」「やっぱりできないかなあ」
(無い)	[形]			(ものが) 存在しない。	「ここにはゴミ1つない」「水を飲もうとしてもコップがない」

※「ない」を選択した画面です
助動詞「ない」と形容詞「ない(無い)」が表示されています

① ✓をクリックして [表記] を表示

② 非選択にしたい語の■をクリック

国立国語研究所
日本語基本語辞典
— 初級500語 —
島村直己 他 (2009)

見出し, 表記

☒ ない
☒ (ない)
☒ (無い)

国立国語研究所
日本語基本語辞典
— 初級500語 —
島村直己 他 (2009)

見出し, 表記

☒ ない
☒ (ない)
☐ (無い)

表記	品詞	小区分	小区分表記	語義	例文
(ない)	[助動]			① (動詞の未然形について) その動作の打ち消しを表す。	「行かない」「もうしない」
(ない)	[助動]			② (「か」「かしら」「かな」「かなあ」などの語を付けたら, 上昇調のイントネーションで命令, 願望, 推量などを表す。	「どうだ, もうしないか」「少しでももらえないかしら」「やっぱりできないかなあ」

※助動詞「ない」のみが選択された状態の画面です

3. 閲覧したい行を選ぶ

<初期画面>では、すべての見出しが表示されています

国立国語研究所
日本語基本語辞典
— 初級500語 —
— 最終版 他 (2009) —

見出し: 表記
検索

- ☐ あお
- ☐ あおい
- ☐ あか
- ☐ あかい
- ☐ あかるい
- ☐ あき
- ☐ あける
- ☐ あさ
- ☐ あさって
- ☐ あし
- ☐ あした
- ☐ あそこ
- ☐ あそぶ
- ☐ あたま
- ☐ あたらしい
- ☐ あちら
- ☐ あつい

表記	品詞	小区分	小区分表記	語義	例文
▲					
(動)				新年や喜ばしい出来事を祝って言うことば。	「明けましておめでとう」「発売ジャイアンツ優勝おめでとう」
(形動)				(子どもが) よく言うことを聞いて静かであるさま。	「娘やは今日は一日おとなだったね」
(副)				① だいたいの見当を示す。	「車を100グラムくらい入れてください」「駅まで10分くらいかかる」
(副)				② 確度が最も上であること。最も。	「世界でいちばん速く走る男と言われる」「何もしないのがいちばん悪いことだ」
(副)				③ (勝負を一つやってみよう、の意から) たしにひとつつ。試みに。	「ここはいちばん、サヨナラホームランを狙おう」
(副)				④ 状況をなにかにたとえる。	「目が飛び出るかと思うくらい驚いた」「手紙を書くくらい簡単じゃないか」
(副)				⑤ 他のことがくらべて程度が大きいことをあらわす。	「子どもに死なれるくらい悲しい出来事はない」
(副)				⑥ 自分の好みや主観で他を選択することをあらわす。	「いやな上司の下で働かされるくらいなら、退職したほうがましだ」
(接子)	[名]			① 座るための、脚座面を持った家具。肘掛けや背もたれの付いている物もある。チェア。また二人以上が並んで座る長いす (ベンチ) もある。腰掛け。	「この椅子に掛けてお待ちください」

表記: 1	語法	参照
		(参照) この・その
		(参照) これそれ
	[語源] 「くさ」は「種(くさ)」に由来する。	
	[語源] 「つきたち(月立ち)」から音変化してできたことば。	
	[語法] 「一日(いちにち)」は、同表記の別語。	
	[語源] 「今日はいよいよ元気で……」などの後の部分が喝されてきた語。	
	[語源] 「今夜は暗やかな夜で……」などの後の部分が喝されてきた語。	

あ行 か行 さ行 た行 な行 は行 ま行 や行 ら行 わ行 ALL

行ボタンをクリックすると、その行のページに移動します

国立国語研究所
日本語基本語辞典
— 初級500語 —
— 最終版 他 (2009) —

見出し: 表記
検索

- ☐ は
- ☐ はい
- ☐ はいる
- ☐ はこ
- ☐ はさみ
- ☐ はし
- ☐ はじめる
- ☐ はしる
- ☐ バス
- ☐ はち
- ☐ はちじゅう
- ☐ はつか
- ☐ はっきり
- ☐ はな
- ☐ はなし
- ☐ はなす
- ☐ はやい

表記	品詞	小区分	小区分表記	語義	例文
([名]páo)	[名]			小麦粉を主材料としてつくった食べ物。	「パンにバターを塗って食べる」「朝食はパンとコーヒーです」
(bus)	[名]			大型の乗り合い自動車。	「観光バスに乗る」「バス停でバスを待つ」「バスで旅行をする」
(handkerchiefの略)	[名]			小型で四角形の手拭き用の布。	「ハンカチで手を拭く」「ハンカチを洗う」
(hotel)	[名]			賓客として、バス、トイレが室内にあり、寝室にベッドがある洋風の宿泊施設。	「シンガポールではラフズ・ホテルに泊まりました」
(pen)	[名]			① 長い柄の先に付いた先が割れた金属やガラスにインキを含ませた筆記具。	「妹は英語のペン習字を習っています」
(pen)	[名]			② 万年筆、ボールペン、蛍光ペン、サインペン、ボールペンのように、自動的に液体が紙に滲する部分に補給されるメカニズムを持った筆記具。	「履歴書はペン書きして下さい」「そのペン買して下さい」
(pen)	[名]			③ (文学的表現) 文筆業を指して言う。	「彼は差別語が多くては文筆業は成り立たないとしてペンを折った」
(pocket)	[名]			① 服やズボンに付いている物を収納するためのスペース。	「ポケットに定期を入れたまま洗ってしまった」
(pocket)	[名]			② 靴やバッグの表面、あるいは、内部に付いている収	「このバッグは携帯や傘のためのポケットがあって重宝

表記: 1	語法	参照
	[語法] 「ハンカチ」ともいう。	
	[語法] 「食が細る」は食欲がなくなるの意味。「年取ると食が細くなってね」という風にする。	
	[語法] ホテル等の等級化に使われる場合、星の読み方は、次のようになる。「ひとつぼし」「ふたつぼし」「みつぼし」「よつぼし」「いっつぼし」「ななつぼし」「六つ星」というのは実際には使われない。星の名前に用いられた場合には、[ぼし]「せい」の二つの読み方がある。例: 七つぼし「せう」よくせい、ひこぼし「せう」の読み方では、「七つ星」は「七つ星」とも読む。	

あ行 か行 さ行 た行 な行 は行 ま行 や行 ら行 わ行 ALL